

雨の日は家族の傘で 玄関を華やかに



① 溶接で組立てる

傘立ての土台を組立てる。



10mmφ異形鉄筋、6mmφ丸棒、20mmLアングル(3mm厚)をカットして材料をそろえる



傘立ての土台に使う
枠を作る



アングル同士を直角に組んで、400mm×200mmの枠を2つ作る(写真④⑤⑥)。

まずはアングルで枠を作るのだが、コーナーは収まりが良いように端を45度でカットする。もしもデイスケグラインダーで斜めカットが難しい

しいようであれば、直線でカットしておいてアングル同士が重なっても問題ないだろう。あとはしっかりと溶接させ

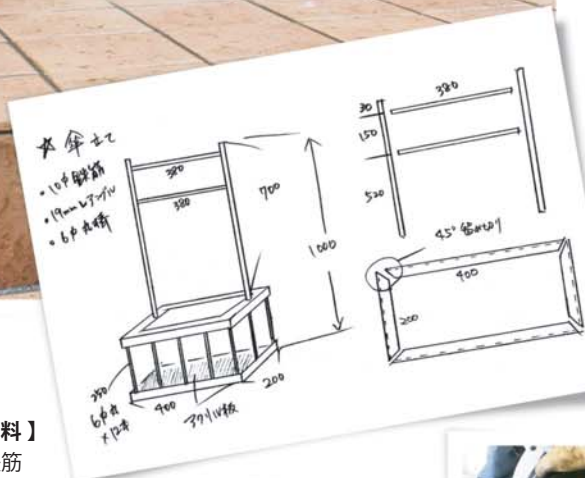
アングルと丸棒を溶接する



アングルの枠を丸棒で繋げていく。先に角の4本を溶接する(写真⑦⑧)。



残りの丸棒も全て溶接し、土台部分が完成(写真⑨⑩)。



【使用する材料】

- ① 10mmφ異形鉄筋
- ② 6mmφ丸棒
- ③ 20mmLアングル(3mm厚)

【寸法取り】

- ① 鉄筋 700mm×2 380mm×2
- ② アングル 200mm×4 400mm×4
- ③ 丸棒 250mm×12
- ④ アクリル板 380mm×180mm



アングルやパイプは直角に繋ぎたいときは、両端を斜め45度にカットしよう(写真①②③)。



04

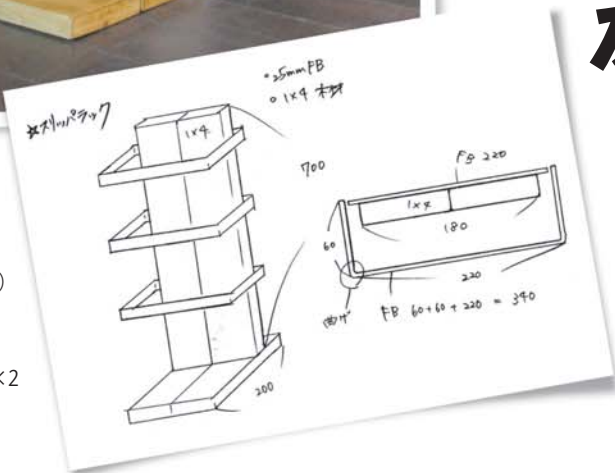
鉄と木の組み合わせが 家と自然に調和する

【使用する材料】

- ①30mmLアングル(3mm厚)
- ②木材(1×4材)
- ③25mmフラットバー(3mm厚)

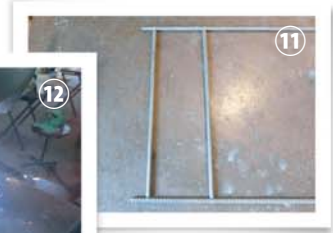
【寸法取り】

- ①アングル 170mm×1
- ②木材 200mm×2 700mm×2
- ③フラットバー 220mm×3
フラットバー=340mm×3



②溶接で組立てる

傘掛け部分を組立てる。



鉄筋を組んで、傘を掛ける部分を作る(写真⑪⑫⑬)。



土台のアングルと鉄筋を溶接する

丸棒や丸パイプは、一気に一周させることは出来ないので、3分の1ずつ溶接しよう。

土台に位置を決めて、鉄筋を立てて溶接する(写真⑭⑮⑯)。

③塗装で仕上げ

仕上げの最終工程。

溶接箇所や尖っている角を取るように研磨する(写真⑰)。



塗装して、アクリル板を内側に敷けば、完成(写真⑱)。

